

HyBRIDGE

鋼桁橋の詳細設計製図システム

概要

HyBRIDGE は、鋼床版および非合成・合成プレートガーダーの詳細設計製図システムです。道路橋示方書・同解説 I 共通編、II 鋼橋・鋼部材編(平成 29 年 11 月)※1 に基づいた設計が可能です。また、正確な幾何情報に基づく設計計算と製図を特徴とし、かつ立体解析断面力連動により、鋼構造に特有の実践的なモデルに対応します。

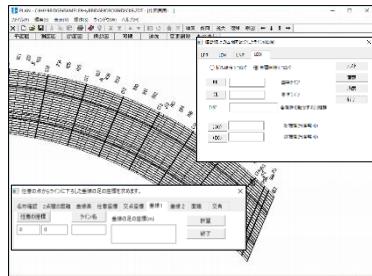
※1 一部の機能については、計算例、手引き等の発刊後に検討・対応予定です。

特長

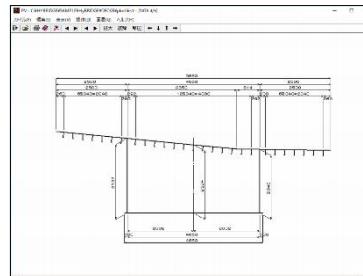
- ① 線形座標計算システム(JIP-LINER)から基本的な線形要素を連動し、リブ配置等は設計計算の段階で画面上で配置を確認しながら行います。そのため、主桁腹板間隔等の変化にあわせた縦リブの配置や、縦リブの本数の変化に容易に対応できます。
- ② 曲線箱桁のフランジ勾配の連続的な変化、主桁のハンチによる桁高変化などを設計製図で正確に扱えます。
- ③ 任意形立体骨組の断面力解析システム(JIP-SPACER)から 6 断面力を連動します。非合成桁の架設完成系や連続合成桁の床版打設ステップやクリープ・乾燥収縮・温度差による内力も考慮できます。
- ④ 対応形式
 - ◆鋼床版箱桁(単室、多室※2)
 - ◆RC 床版非合成箱桁・I 桁
 - ◆RC 床版合成箱桁(閉断面、単室および 2 室※1、開断面※2)
 - ◆床組(横梁、横桁、縦桁、ブレケット、対傾構、横構)
 - ◆鋼床版 I 桁※2
 - ◆RC 床版合成 I 桁
 - ◆床版の設計
- ⑤ 疲労照査を行います。
- ⑥ 製図データの多くは線形・設計計算から連動し、データの追加や修正も画面上で図化後の状態を確認しながらスピーディに行うことができます。
- ⑦ 図面ファイルは、国土交通省 CAD 製図基準(案)に準拠した DXF ファイルに出力が可能です。

※2 製図は非対応です。

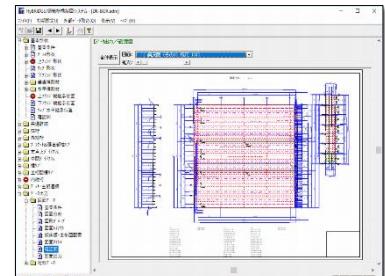
画面例



リブ配置・編集画面



横断面形状確認画面



製図出図確認画面

制限

| | | | | | |
|---------|---|--------------|----------|---|-----------|
| 主桁本数 | : | 15 主桁 | 径間数 | : | 20 径間 |
| 横断数 | : | 200 横断 | 断面数 | : | 150 断面/主桁 |
| 横縦手数 | : | 149 繰手/主桁 | 多室対応(設計) | : | 4 室 |
| 水平補剛材段数 | : | 2 段(主桁は 3 段) | 多室対応(製図) | : | 単室 |

動作環境

Windows 7/8/10

Microsoft®、Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

販売価格

システム構成により使用許諾料およびサポートサービス料(必須)が変動いたしますので、営業担当者へお問い合わせください。